



横浜市立釜利谷東小学校

5月号

学校便り

令和2年5月11日

TEL 045-783-9398 FAX 045-701-9817

ひがしの願い

ひとつの命

がんばる心

しんじあう仲間

「一斉臨時休業」延長

校長 皆川 誠

新たな学年がスタートして1ヶ月が経ちました。例年でしたら、新しいクラスに慣れた子どもたちが元気に学校生活を送り、ジュニアカップ（運動会）に向けた活動が始まる頃です。

しかし、今年はこの期間が一斉臨時休業となり、新年度がスタートしたとは、とても思えない4月でした。そのような中でも、季節は、桜から新緑へと確実に歩みを進めており、自然のたくましさを改めて感じさせられる5月となりました。

さて、新年度早々、私を喜ばせてくれた出来事が2つありました。それは、入学式での1年生と、始業式の日々の6年生の姿です。

まずは、入学式でのことです。保護者と教職員が見守る中、緊張気味に入場してきた1年生でしたが、座席での姿勢がとても素晴らしかったのです。それだけではありません。話の冒頭で私が、「ご入学、おめでとうございます。」と言うと、「ありがとうございます。」と、多くの1年生から自然と返ってきました。返事や挨拶はできるのが「当たり前」だと思いますが、その「当たり前」のことが自然にできていたことが素晴らしいのです。とても嬉しかったので、式終了後、列席されていた保護者の皆さんに「とても立派な1年生ですね。」と、話しに行ったほどでした。

次に、6年生です。今年、新型コロナウイルス感染症対策として、新学期準備にも入学式にも参加することができませんでした。例年ですと、まずこの2つの場面で、「今年は、学校のリーダーだ。」という意気込みが伝わってくるのですが、「今年はどうだろうか。」と、思っていました。しかし、そのような心配は無用だったようです。始業式の後、それぞれのクラスに新しい教科書を届けに行ったり、体育館にマットを運んだり、一生懸命仕事をしている6年生の姿を目にしました。

最高学年として全校をリードしていく6年生と、釜利谷東小の一員としてこれから一步一步成長していく1年生から、このような素晴らしい姿を見ることができ、今年度への期待が膨らんだ年度初めの2日間でした。

ゴールデンウイーク明けには、こうした子どもたちに会えることを楽しみにしておりましたが、残念ながら一斉臨時休業が5月31日（日）まで延びてしまいました。この間、各担任より届けられたドリルや学習課題、また、教育委員会配信のインターネットによる学習動画やt.v.kによる学習動画の放送を利用して、計画的に学習に取り組んでほしいと思います。4、5月の内容については、学校再開後、改めて学習します。

これから約3週間、我慢の日々が続きますが、不要不急の外出は控え、こまめな手洗いを心掛け、コロナウイルスへの感染防止に努めてください。学校再開に向けて、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。